



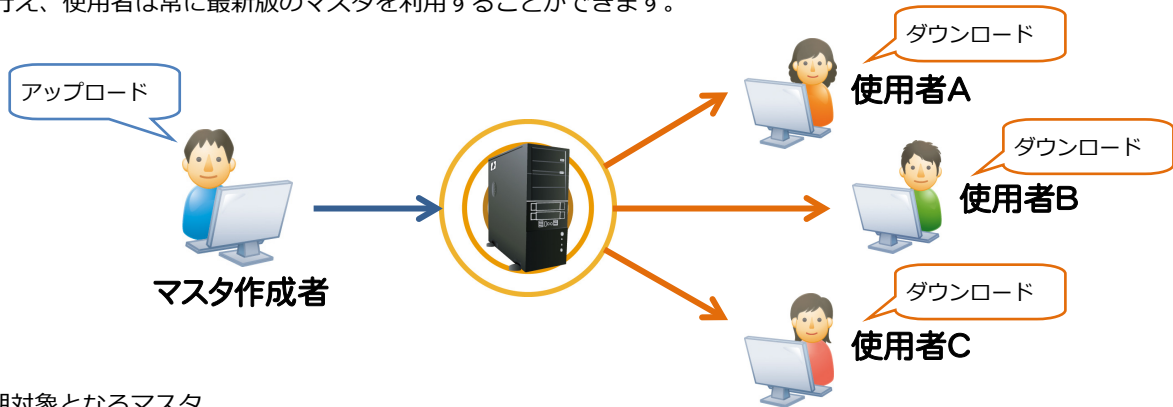
# マスタ同期編

マスタ同期を利用して、マスタをアップロードしたりダウンロードしたりする手順を解説します。マスタ同期を利用することで、社内でのマスタ管理の手間を軽減することができ、マスタ配布が正確かつ迅速に行えます。

1	マスタ同期	2
2	アップロード（※マスタ作成者）	4
	マスタ環境を作成する	4
	マスタをアップロードする	6
	更新マスタをアップロードする	8
	[補足] ダウンロードの状況確認	9
	[補足] サーバーに残す履歴について	9
	[補足] サーバーのフォルダ構成について	9
	[補足] 新規アップロードと上書きの違い	10
	[補足] アップロードの状態	10
	[補足] 複数のマスタを配布する場合	11
	[補足] 複数のマスタの一部を同期する場合	13
3	ダウンロード（※マスタ使用者）	14
	マスタ環境を作成する	14
	ダウンロードについて設定する	15
	マスタをダウンロードする	16
	[補足] ZERO を使用中にマスタを更新する場合	17
	[補足] 複数のマスタを使用する場合	18

# 1 マスタ同期

社内ネットワークに接続しているサーバーやコンピューターを使用して、マスタをアップロードしたりダウンロードしたりすることができます。ARCHITREND ZERO（以降「ZERO」）を複数台ご購入いただいている場合や、本社やフランチャイズ本部で作成したマスタを使用している場合など、マスタに更新があった際に、社内ネットワークを通してマスタデータの同期（更新）を行え、使用者は常に最新版のマスタを利用することができます。



■ 同期対象となるマスタ

同期可能なマスタは、ZERO、Archi Master、ARCHITREND Manager（以降「Manager」）で使用するマスタです。

※ マスタの他に、Excel ファイルなどを一括配布することもできます。

ZERO		
マスタ名	マスタ名	マスタ名
共通マスタ	衛生記号	トラス
物件マスタ	樹木	たて枠
ユーザー素材	記号	部材リスト
会社情報	標準配筋	鉄筋・鋼材
太陽光パネル	建具等級	木造パネル
換気設備	性能チェック	金物
仕上	クイック建具	筋かい
部屋	外構パターン	木造構造計算
外部標準	外装シミュレーション	2×4 構造計算
建具形状	家相チェック	積算関連
建具集計	リノベーション	造作下地
3D部品	内装シミュレーション	積算部品
2D部品	快適住まい	積算
ハッチング	AT エコナビ	仮設
登録文字	階段デザイン	支保工
図枠	汎用シンボル	タイル
電気記号	構造材	天井床
Archi Master		Manager
マスタ名	マスタ名	マスタ名
共通	クイック部品	共通設定
背景画像	クイック建具	文書テンプレート
HomeViewer テンプレート	照明自動	対応履歴テンプレート
素材	積算	マスタデータ
部品（セット情報は除く）	樹木（簡易部品）	
建具（セット情報は除く）		

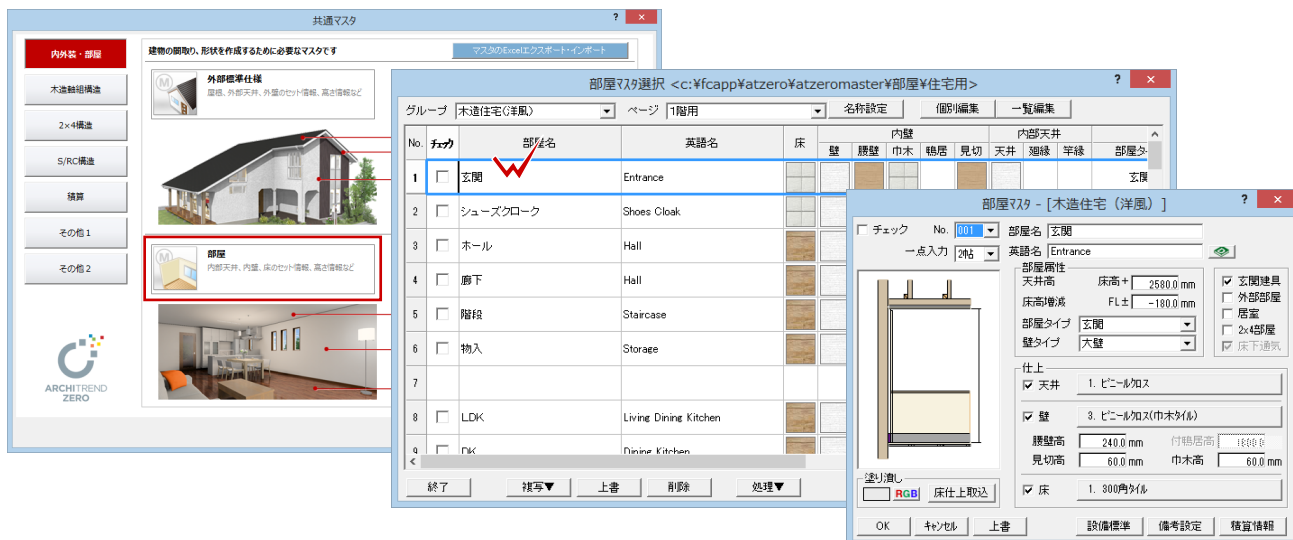
■ マスタ環境

ZERO、Archi Master、Manager で使用するマスタデータのパスを組み合わせると1セットにしたものを「マスタ環境」と呼びます。ユーザーはマスタ環境を切り替えることで、パターンの異なる物件作成を行うことができます。

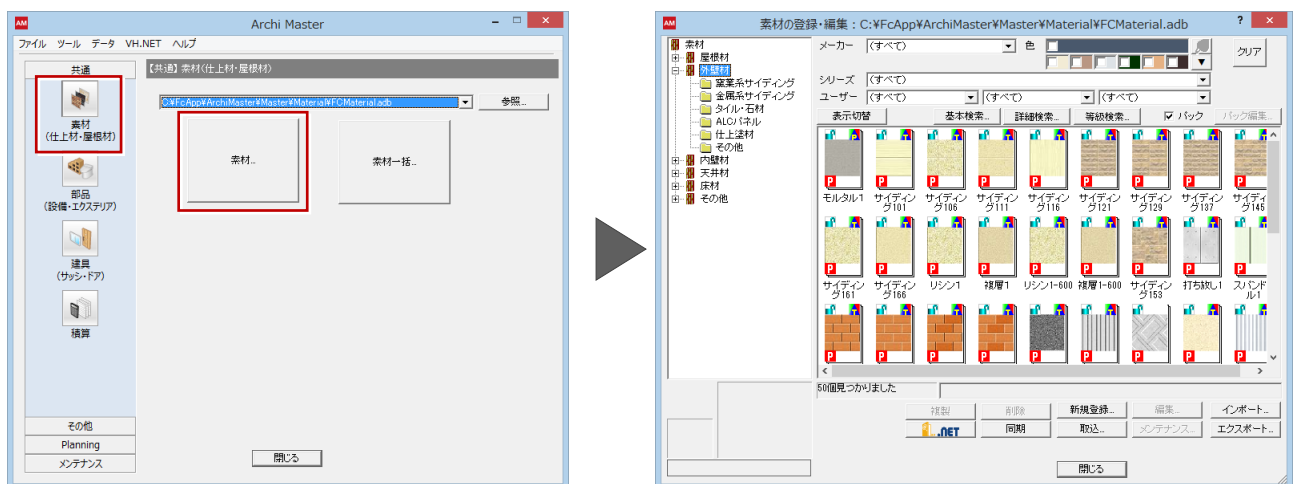
■ マスタの準備

マスタ作成者は、マスタ配布の前に各プログラムにて配布するマスタの作成を済ませておきましょう。

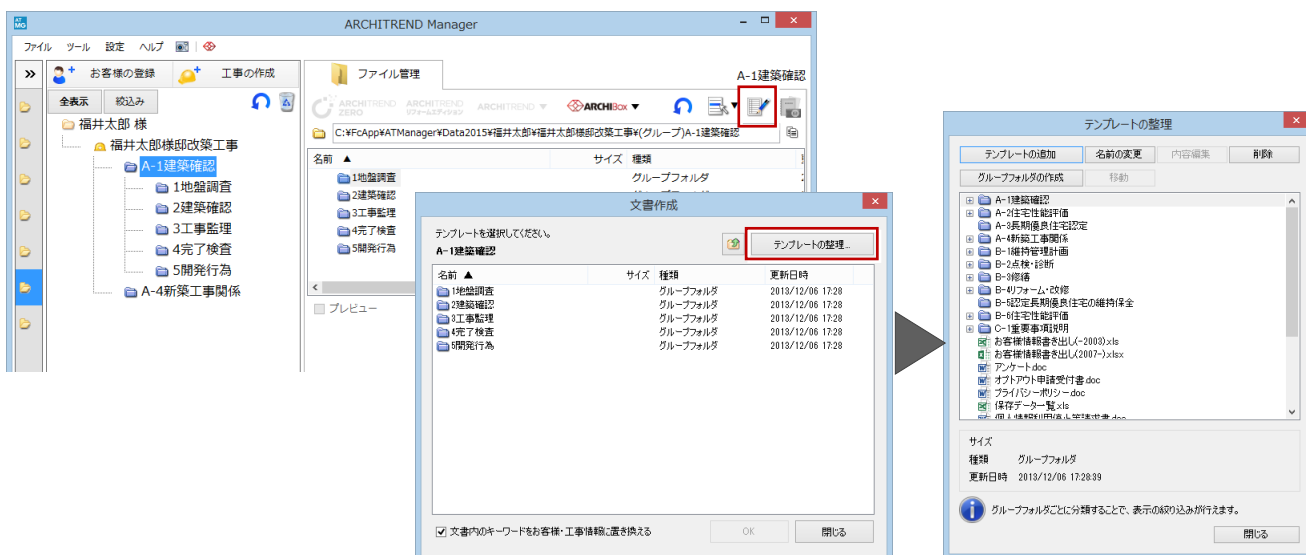
【例：ZERO（部屋マスタ）】



【例：Archi Master（素材）】



【例：Manager（文書テンプレート）】



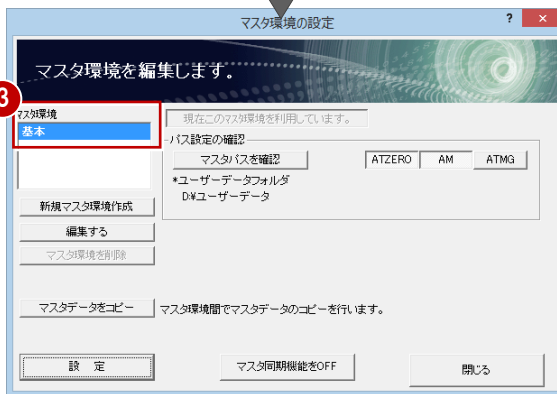
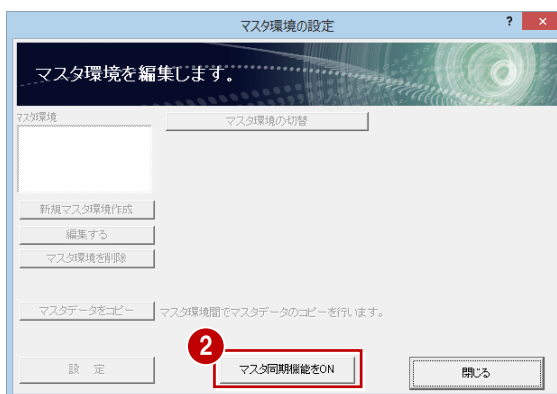
## 2 アップロード（※マスタ作成者）

マスタ作成者の手順を解説します。作成したマスタをサーバーへアップロードしたり、更新したマスタをアップロードしてみましょう。

### マスタ環境を作成する

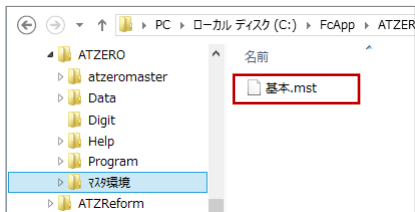
アップロード機能を利用するための準備をします。

- 1 [物件選択] ダイアログの [処理] メニューから [マスタ同期] の [マスタ同期を利用する] を選びます。
- 2 [マスタ同期機能を ON] をクリックします。
- 3 [マスタ環境] に「基本」が作成されます。



### マスタ環境ファイル

[マスタ同期機能を ON] をクリックすると、ZERO がインストールされている「ATZERO¥マスタ環境」に、マスタ環境ファイル「基本.mst」が自動作成されます。

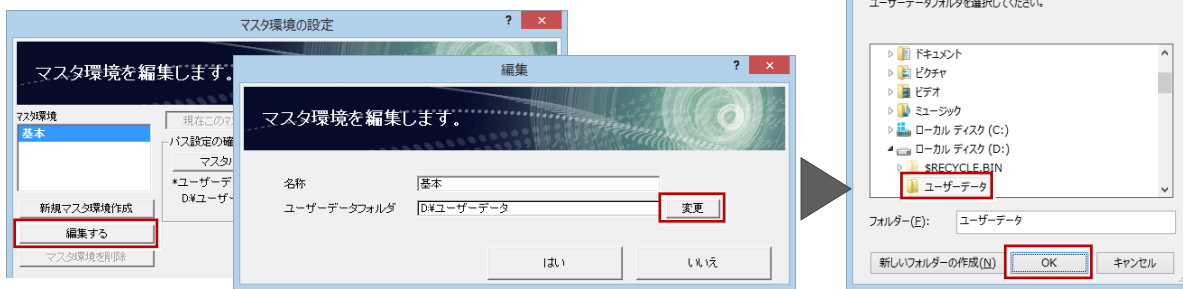


⇒ マスタ環境ファイルの保存場所の設定については、P.5 参照

### ユーザーデータフォルダ

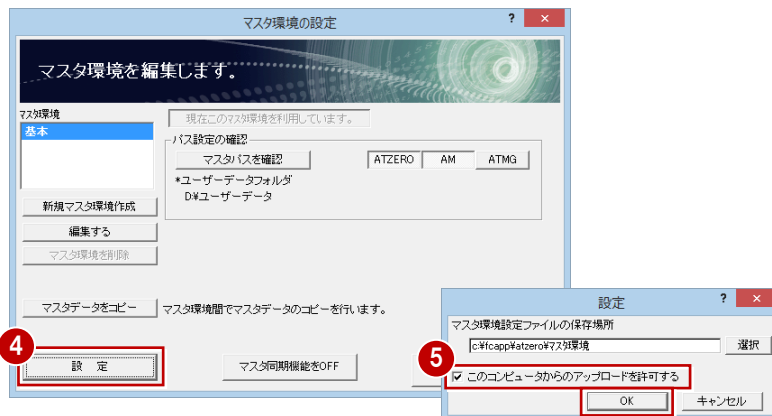
ユーザーデータフォルダは、マスタ同期の際に、マスタデータ以外のデータ（Excel データや Word データなど）をアップロード、またはダウンロードするためのフォルダです。マスタデータ以外のデータを配布する場合には、任意の場所にフォルダを作成し、ユーザーデータフォルダを設定しておきましょう。

⇒ ユーザーデータフォルダの確認については、P.16 参照



マスタ作成者のコンピュータからアップロードができるように設定しましょう。

- 4 [設定] をクリックします。
- 5 [このコンピュータからのアップロードを許可する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。



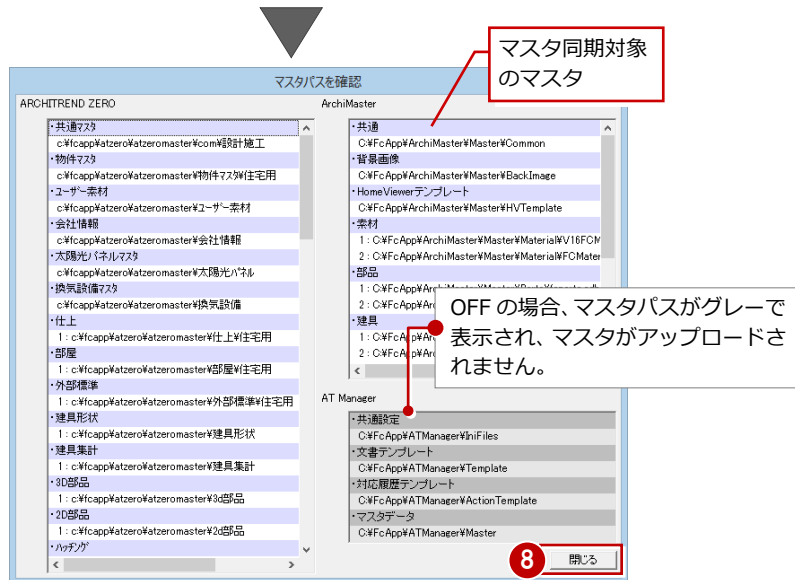
最後に、マスタパスを確認しましょう。

- 6 ここでは、ZERO と Archi Master をマスタ同期の対象とするため、[ATZERO] [AM] が ON であることを確認します。
- 7 [マスタパスを確認] をクリックします。
- 8 マスタ同期対象のパスを確認して、[閉じる] をクリックします。
- 9 [マスタ環境の設定] ダイアログの [閉じる] をクリックします。



以上でマスタ環境の準備は完了です。

- ⇒ 複数のマスタを使用する場合、P.11 参照
- ⇒ マスタ環境の切り替えは、P.12 参照



**アップロードの許可**

[このコンピュータからのアップロードを許可する] が ON で、アップロードが可能なプロジェクトを使用した場合のみ、アップロードが許可されます。アップロードが可能になると、[物件選択] ダイアログの [処理] メニューの [マスタ同期] に [アップロード] が表示されます。

**マスタ環境ファイルの保存場所**

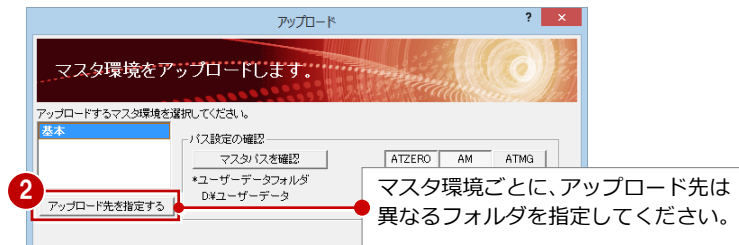
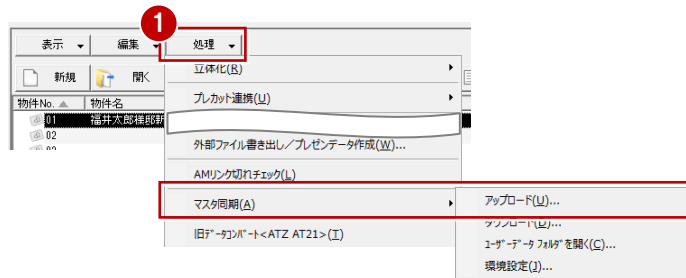
マスタ環境ファイルの保存場所には、任意のフォルダを設定できます。ただし、保存場所を変更した場合には、変更元と変更先の 2 ヶ所に同じマスタ環境が作成されます。同じマスタ環境が重複することはトラブルやミスの原因にもなりかねません。よほどの理由がない限り、デフォルトのまま使用しましょう。



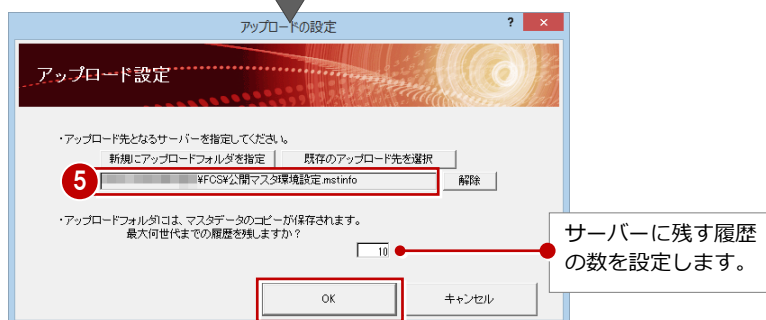
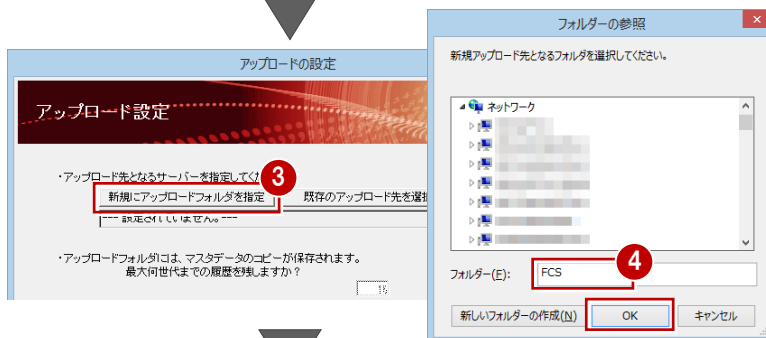
## マスタをアップロードする

アップロード先を設定し、作成したマスタ「基本」をサーバーへアップロードしてみましよう。

- ① [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [アップロード] を選びます。
- ② [アップロード先を指定する] をクリックします。
- ③ [新規にアップロードフォルダを指定] をクリックします。
- ④ マスタをアップロードするフォルダを指定して、[OK] をクリックします。

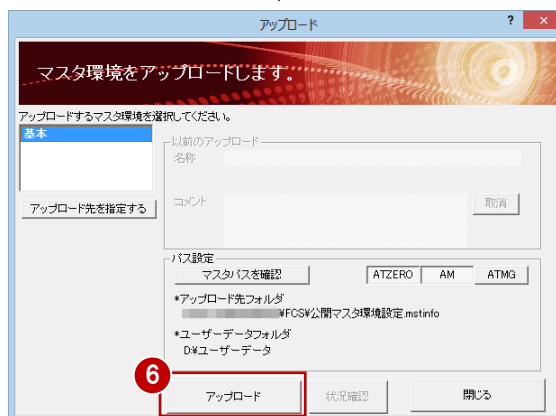


- ⑤ 指定したフォルダに「公開マスタ環境設定.mstinfo」が作成されたことを確認して、[OK] をクリックします。  
⇒ アップロード先のサーバーに残す履歴については、P.9 参照



これでアップロード先の設定が完了しました。

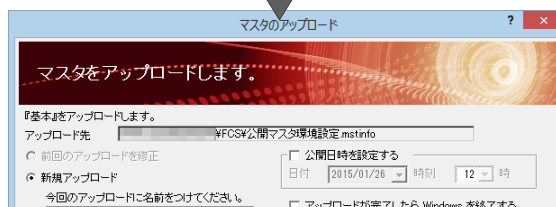
- ⑥ [アップロード] をクリックします。  
[マスタのアップロード] ダイアログが開きます。



### 公開マスタ環境設定ファイル (\*.mstinfo)

新規にアップロード先のフォルダを指定すると、そのフォルダに公開マスタ環境設定ファイルが作成されます。

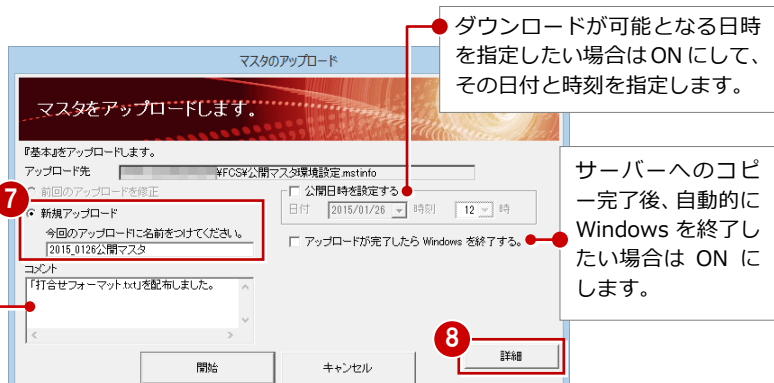
※ このファイル名は、プログラム固定で変更することはできません。



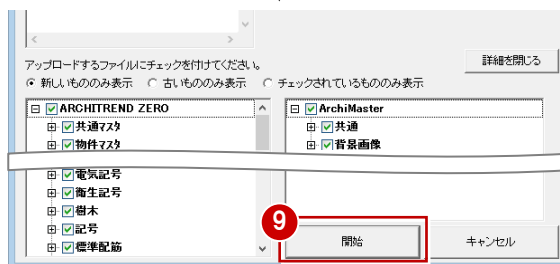
7 [今回のアップロードに名前をつけて下さい。] にアップロードのタイトルを入力します。

8 [詳細] をクリックします。

アップロードするマスタと一緒に配布するデータについて特記したい事がある場合はコメントを入力します。



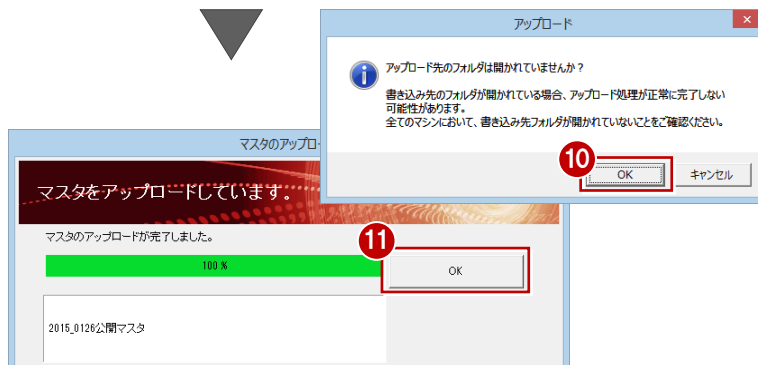
9 アップロードするマスタを確認して、[開始] をクリックします。



10 確認ダイアログで [OK] をクリックします。

11 [OK] をクリックします。アップロードが完了しました。

12 [閉じる] をクリックして、アップロードを終了します。



### 初回アップロードの場合

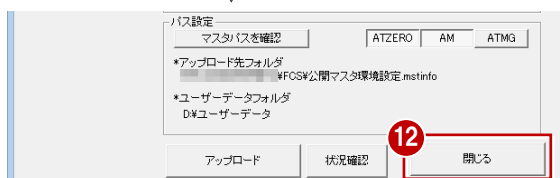
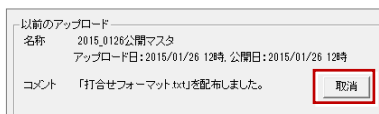
初めてアップロードする場合は、全てのファイルをアップロードすることをお勧めします。更新マスタのアップロードの際に、ファイルを選択する手間が省けます。

### 他のユーザーがダウンロード中の場合

他のユーザーがダウンロードしている場合は、そのユーザーの接続を解除するのを待ってからアップロードが開始します。

### アップロードを取り消す

前回、サーバーにアップロードしたファイルを削除するには、[取消] をクリックします。

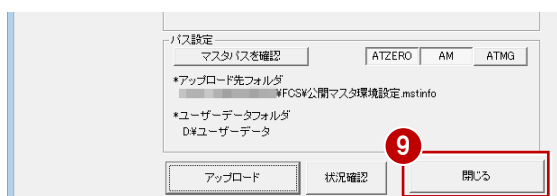
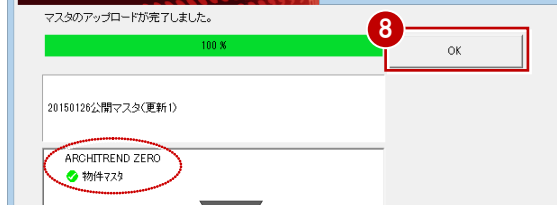
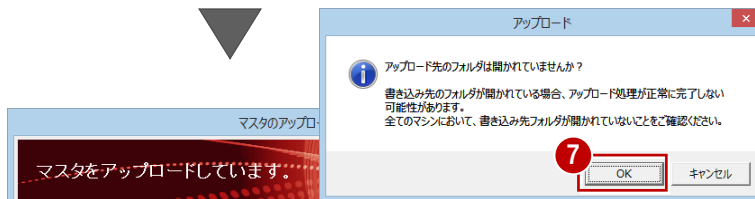
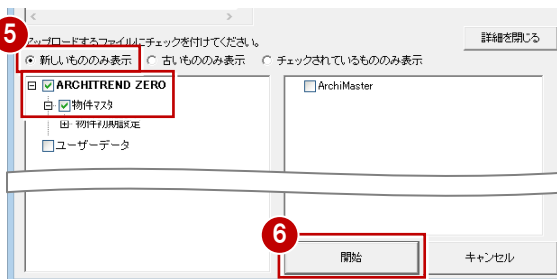
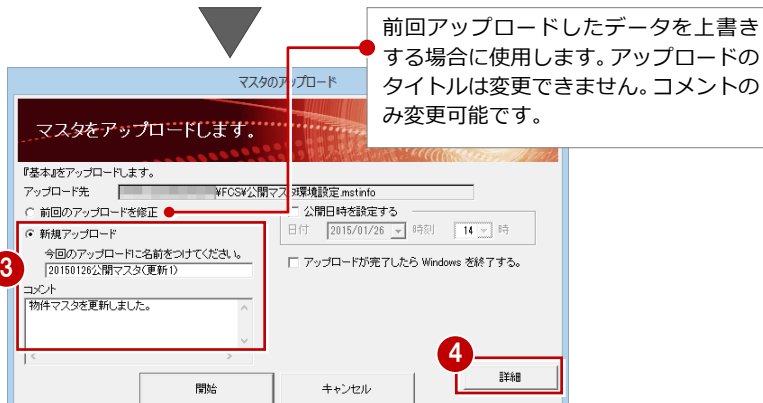
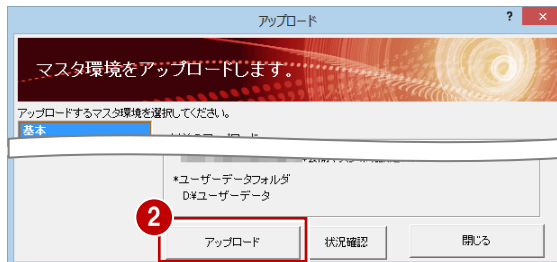
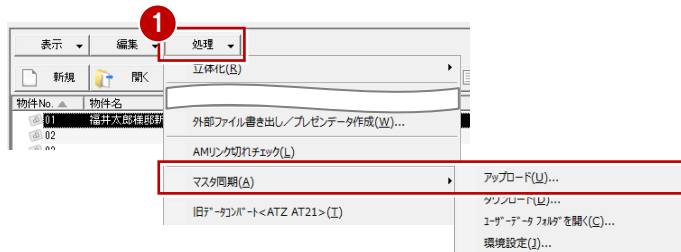


## 更新マスタをアップロードする

マスタを更新した場合には、サーバーへ更新したマスタをアップロードしましょう。

- 1 [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [アップロード] を選びます。
- 2 [アップロード] をクリックします。
- 3 [新規アップロード] を ON にして、アップロードのタイトル、コメントを入力します。
- 4 [詳細] をクリックします。
- 5 更新するマスタにチェックを付けます。
- 6 [開始] をクリックします。
- 7 確認ダイアログで [OK] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [閉じる] をクリックしてアップロードを終了します。

⇒ 新規アップロードと上書きの違いについては、P.10 参照  
 ⇒ マスタのアップロード状態については、P.10 参照



### マスタの比較

#### [新しいもののみ表示]

サーバーにコピーされているマスタと比較して、新しいマスタのみ一覧に表示します。

#### [古いもののみ表示]

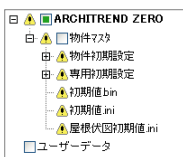
サーバーにコピーされているマスタと比較して、古いマスタのみ一覧に表示します。

#### [チェックされているもののみ表示]

一覧でチェックを付けたマスタのみ表示します。

### マーク

アップロードするマスタとサーバーにコピーされているマスタとを比較して、サーバーのマスタが新しい場合、右のマークが表示されます。

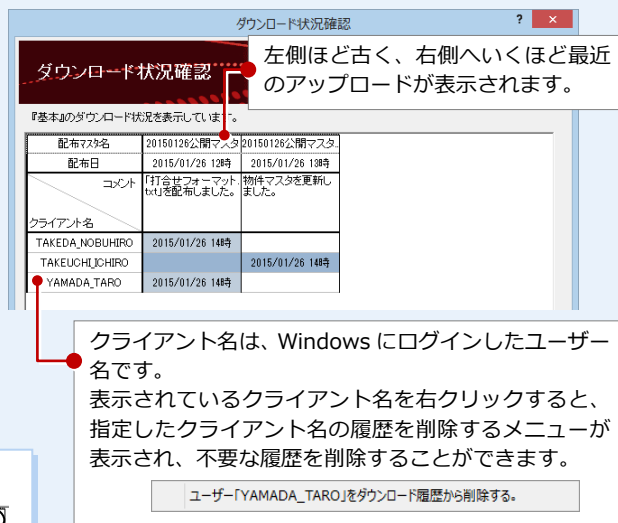
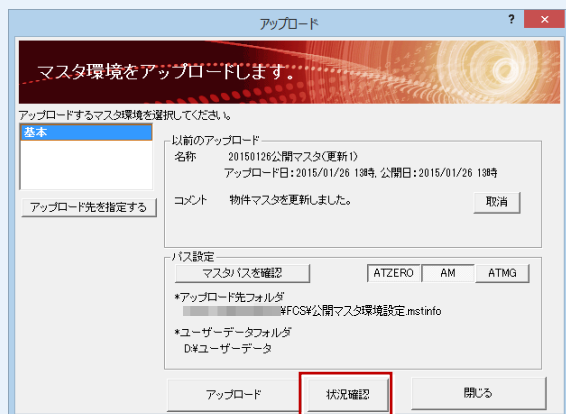


アップロードするマスタで、削除されたファイルがある場合にもマークが表示されます。



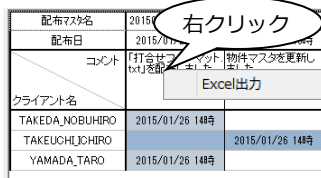
### 【補足】ダウンロードの状況確認

【状況確認】をクリックすると、これまでのアップロードに対して、誰がいつダウンロードしたのかを一覧で確認することができます。



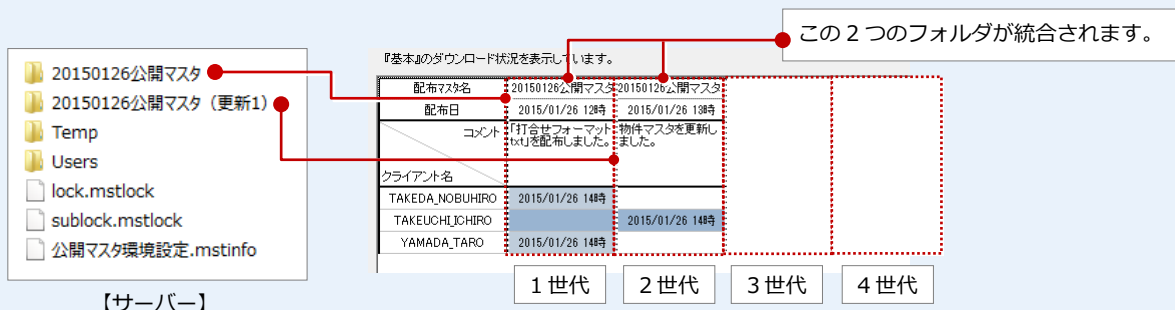
#### Excel に出すには

ダウンロード状況のデータを Microsoft 社製の Excel に出すには、クライアント名以外のところを右クリックして、メニューから [Excel 出力] を選びます。



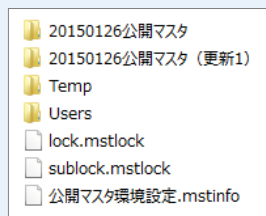
### 【補足】サーバーに残す履歴について

例えば、3 世代まで履歴を残す場合、4 回目の新規アップロードで 1 世代目と 2 世代目のフォルダが統合されます。



### 【補足】サーバーのフォルダ構成について

マスタアップロード先のサーバーには、マスタデータ以外に次の管理用ファイルが自動作成されます。

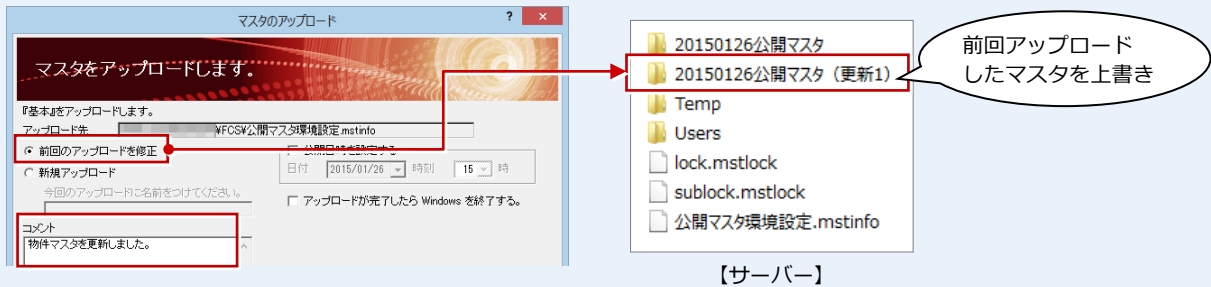


フォルダ・ファイル	
「Temp」フォルダ	アップロードの作業用フォルダです。アップロード時のみに作成されるフォルダです。
「Users」フォルダ	マスタ使用者がダウンロードを行ったときに、その記録を保存するためのフォルダです。マスタ使用者ごとにテキストファイル (.txt) が作成されます。
lock.mstlock sublock.mstlock	アップロード中のダウンロードの禁止や割り込みアップロードの禁止などを行うためのファイルです。アップロード中に意図的に削除すると、データの整合性が失われる恐れがあります
公開マスタ環境設定.mstinfo	アップロード履歴、アップロードフォルダ内部の設定などの情報が保存されるファイルです。サーバー側ファイルの中では最も重要なファイルです。

## 【補足】新規アップロードと上書きの違い

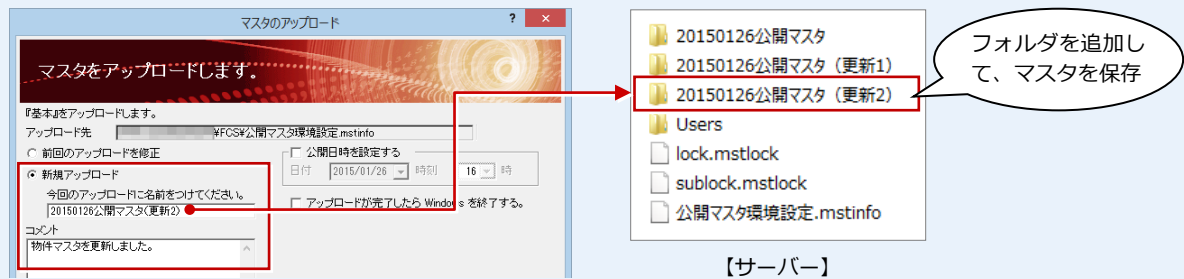
### ■ 前回のアップロードを修正

前回 [新規アップロード] したマスタを上書きします。一度アップロードした直後に変更があった場合などに使用します。アップロードのタイトルは変更できませんが、コメントのみ変更可能です。



### ■ 新規アップロード

サーバーに新しいフォルダを作成してアップロードします。世代が新しくなるので、世代ごとに各使用者のダウンロード状況を確認できます。また履歴を残すことで、ダウンロードの取り消しによる復元が可能になります (⇒ P.17)。



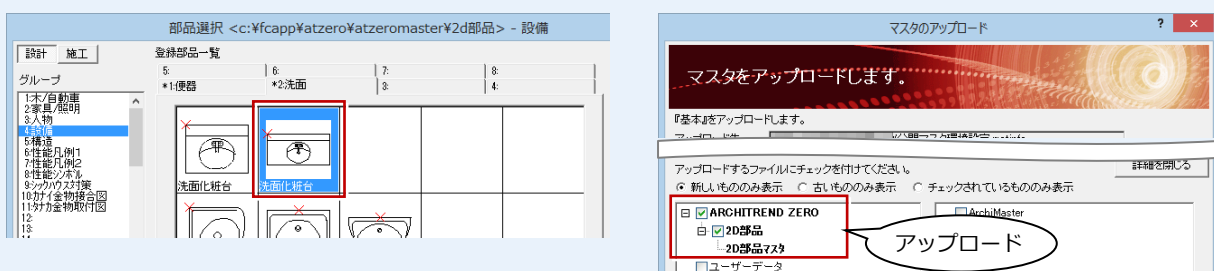
## 【補足】アップロードの状態

新規にアップロードする場合は、全てのマスタがアップロードされますが、アップロード済みのマスタを上書きする場合は、マスタによりアップロードの状態が異なります。

### ■ ZERO、Manager、Archi Master (素材、部品、建具マスタ以外)

追加・変更のあったマスタをマスタ単位でアップロードします。

例えば、ZERO で 2D 部品を 1 つ追加した場合は、2D 部品マスタの全てのデータをアップロードします。



### ■ Archi Master (素材、部品、建具マスタ)

追加・変更したデータ単位でアップロードします。

例えば、Archi Master の屋根素材を 1 つ追加した場合は、その素材データのみをアップロードします。



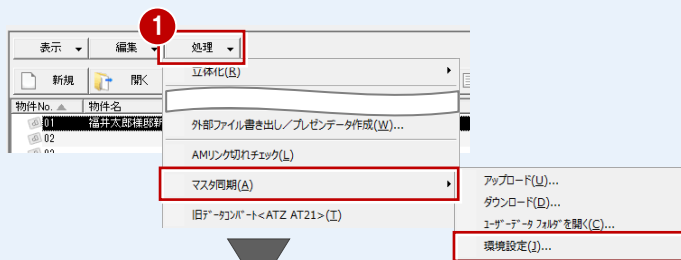
※ 素材等を削除してアップロードしても、削除した情報はアップロードされません。

## 【補足】複数のマスタを配布する場合（※マスタ作成者）

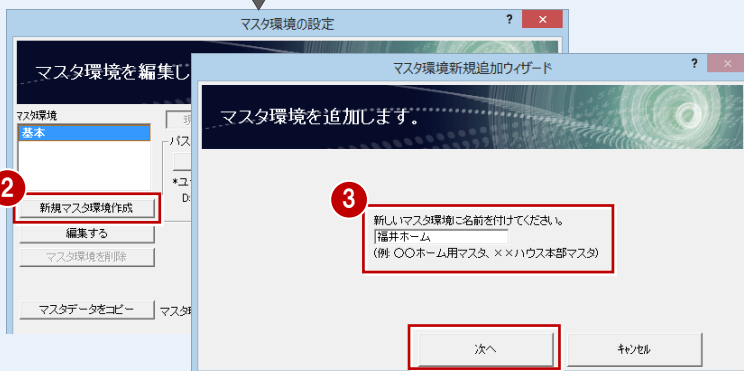
取引先などのマスタを作成し配布する場合、取引先用のマスタ環境を新たに作成する必要があります。

### － マスタ環境を作成する －

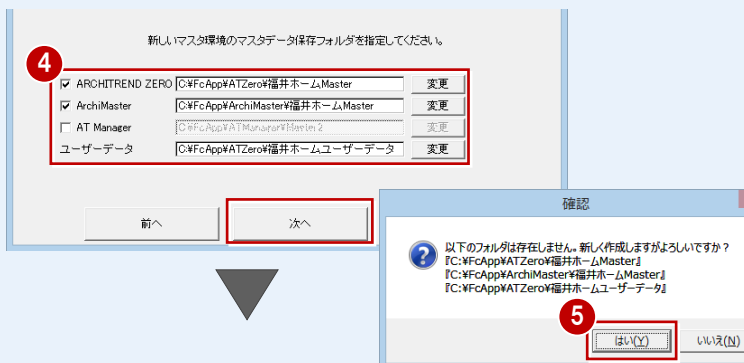
① [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [環境設定] を選びます。



② [新規マスタ環境作成] をクリックします。



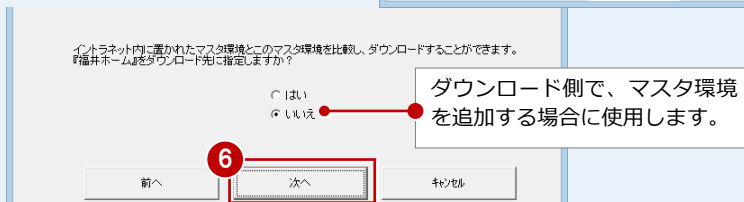
③ 新しいマスタ環境の名前を入力し、[次へ] をクリックします。



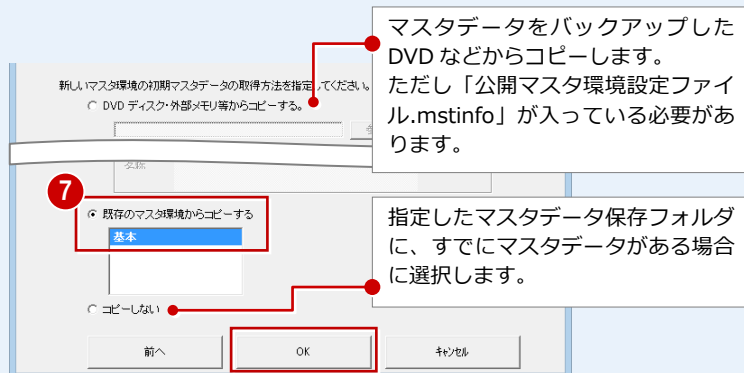
④ マスタデータの保存フォルダを指定して、[次へ] をクリックします。

⑤ [はい] をクリックします。

⑥ ここでは、マスタ作成者がマスタを作成するため [いいえ] が ON であることを確認して、[次へ] をクリックします。



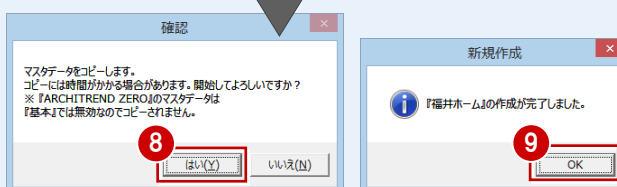
⑦ ここでは、既存のマスタ環境をコピーし、編集を加えて新しいマスタ環境を作成するので、[既存のマスタ環境からコピーする] を選択し、[OK] をクリックします。



⑧ [はい] をクリックします。

⑨ [OK] をクリックします。

以上で、新しいマスタ環境の作成が完了しました。



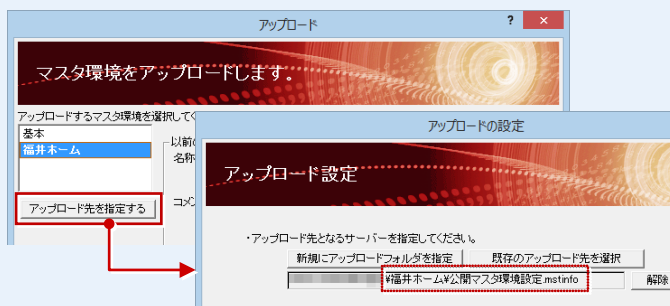
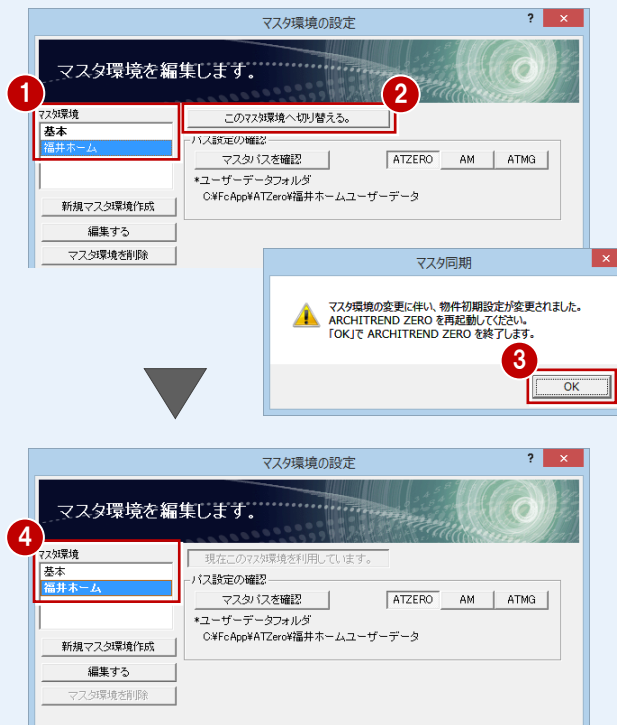
－ マスタ環境を切り替える －

新しく追加したマスタ環境に切り替えましよう。

- ① [マスタ環境] で新しいマスタ環境（ここでは「福井ホーム」）を選びます。
- ② [このマスタ環境へ切り替える。] をクリックします。
- ③ [OK] をクリックします。  
ZERO が終了します。

- ④ ZERO を再起動し、[マスタ同期] の [環境設定] を開くと、マスタ環境が「福井ホーム」に切り替わったことが確認できます。

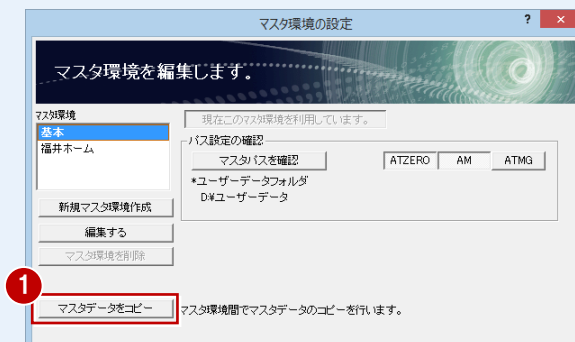
「福井ホーム」マスタの配布準備ができたなら、「基本」と同じ手順でアップロードしましょう。このとき、「福井ホーム」の[アップロード設定]では福井ホーム用のアップロード先を設定してください。



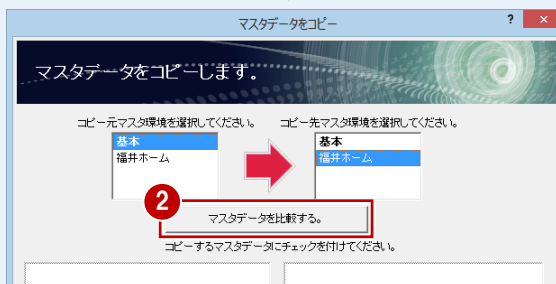
### 【補足】複数のマスタの一部を同期する場合

複数のマスタ環境を使用している場合、あるマスタ環境から別のマスタ環境へ、マスタデータの一部をコピーすることができます。

- 1 [マスタデータをコピー] をクリックします。

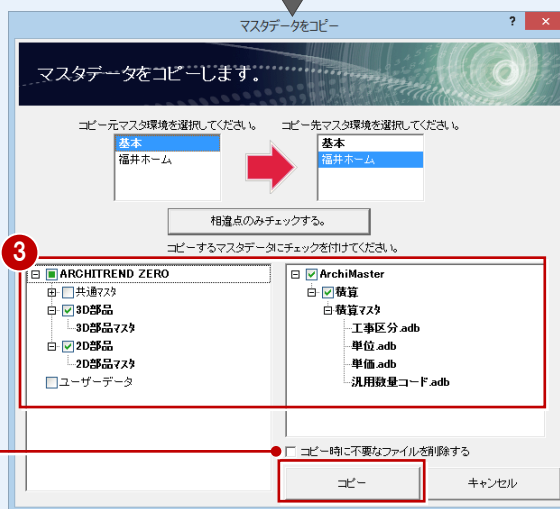


- 2 コピー元マスタ環境とコピー先マスタ環境を確認し、[マスタデータを比較する] をクリックします。



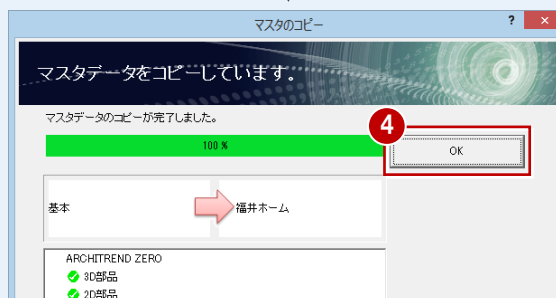
- 3 コピーするマスタデータを ON にして、[コピー] をクリックします。マスタデータのコピーが開始されます。

コピー元マスタには存在しないファイルがコピー先マスタにあった場合、これらのファイルを削除したいときに ON にします。  
 例えば、「2D 部品」マスタに自分で追加したデータがある場合、コピー元マスタにはこのデータは存在しないので、追加したデータは削除されます。自分で追加したデータを残しておきたい場合は OFF にします。



- 4 [OK] をクリックします。

以上で、マスタデータのコピーは完了です。



# 3 ダウンロード（※マスタ使用者）

マスタ使用者の手順を解説します。まずは、ダウンロードの準備をしましょう。

## マスタ環境を作成する

ここでは、ダウンロード機能を利用するために、マスタ環境を新規作成します。

① [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [マスタ同期を利用する] を選びます。

② [マスタ同期機能を ON] をクリックします。

③ [マスタ環境] に「基本」が作成されます。

④ ここでは、ZERO と Archi Master をマスタ同期の対象とするため、[ATZERO] [AM] が ON であることを確認します。

⑤ [マスタパスを確認] をクリックします。

⇒ マスタ環境ファイルについては、P.4 参照

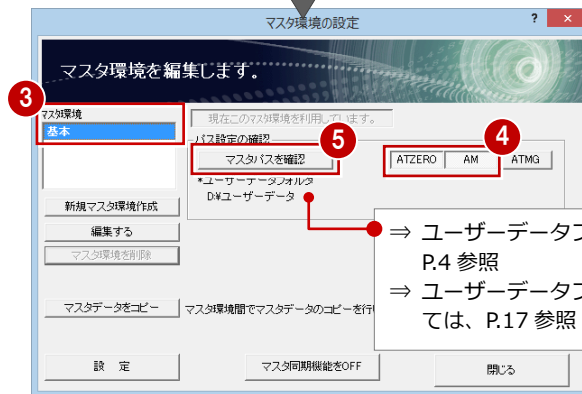
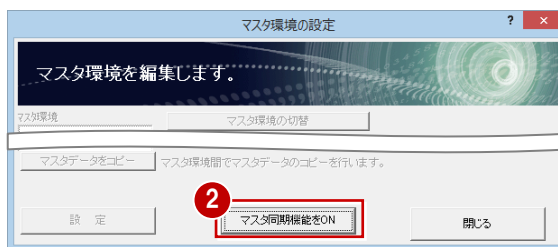
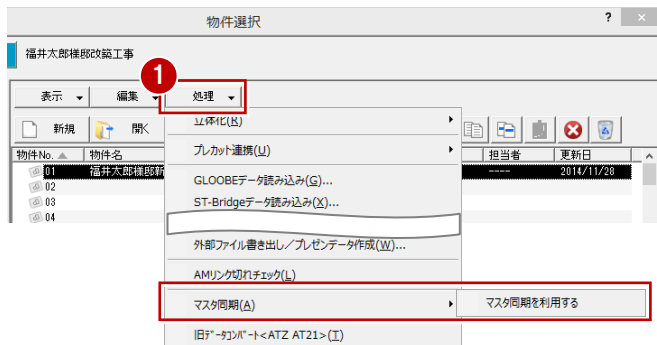
⇒ マスタ環境ファイルの保存場所の設定については、P.5 参照

⇒ 複数のマスタを使用する場合については、P.19 参照

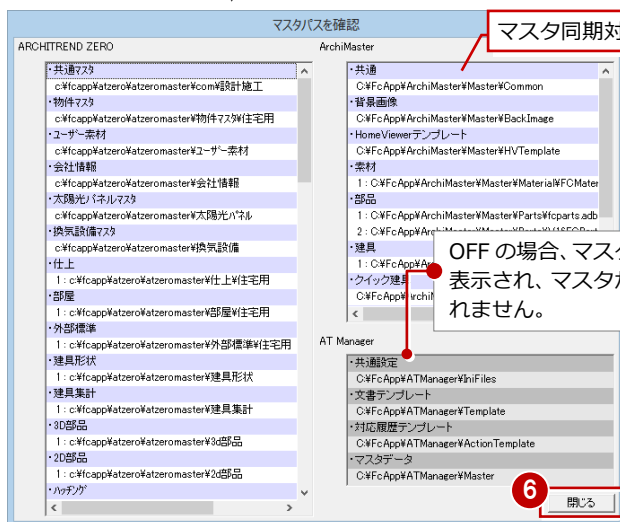
⇒ マスタ環境の切り替えについては、P.20 参照

⑥ それぞれのパスの内容を確認し [閉じる] をクリックします。

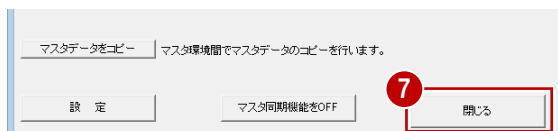
⑦ [閉じる] をクリックして、[マスタ環境の設定] ダイアログを閉じます。  
以上でマスタ環境の作成は完了です。



⇒ ユーザーデータフォルダについては、P.4 参照  
⇒ ユーザーデータフォルダの確認については、P.17 参照



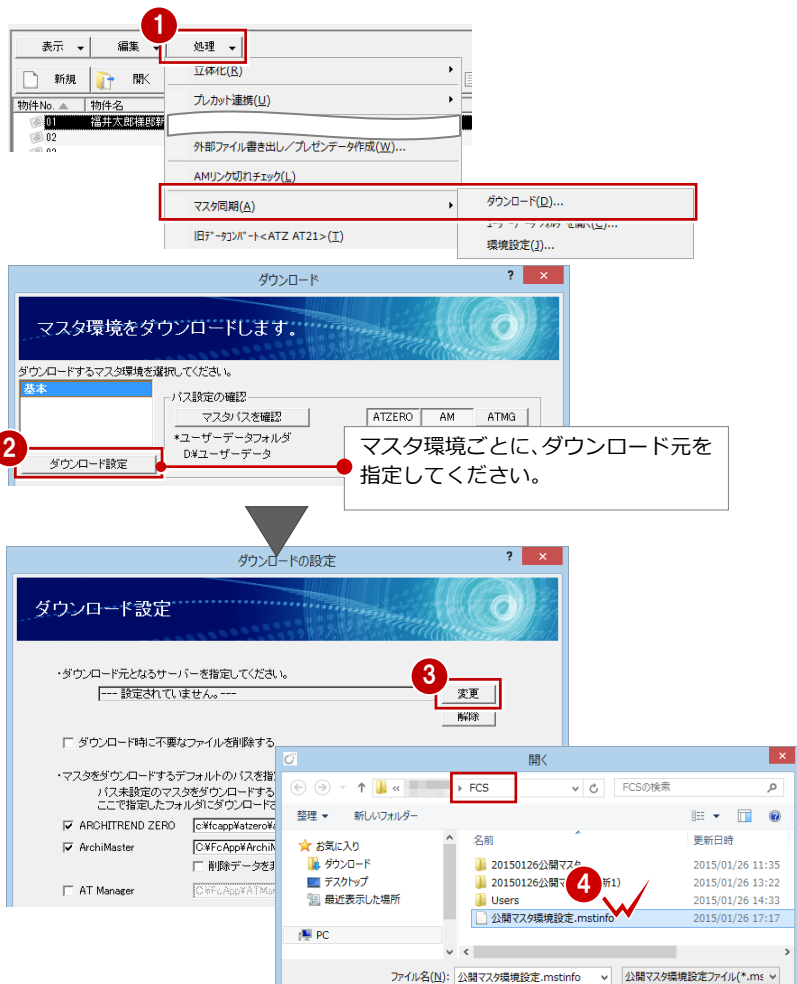
OFF の場合、マスタパスがグレーで表示され、マスタがアップロードされません。



## ダウンロードについて設定する

次に、ダウンロード元のサーバ、マスタのパスを指定します。

- 1 [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [ダウンロード] を選びます。
- 2 [ダウンロード設定] をクリックします。
- 3 [変更] をクリックします。
- 4 マスタがアップロードされているフォルダ内の「公開マスタ環境設定.mstinfo」をダブルクリックします。



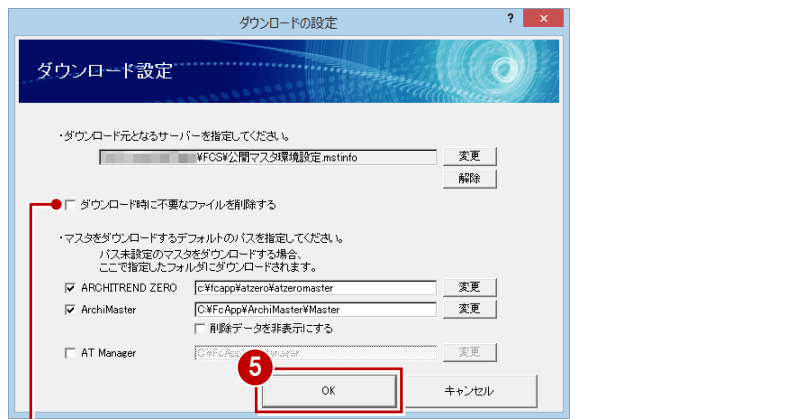
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックして、[ダウンロード] ダイアログを閉じます。

以上でダウンロードの準備が全て完了しました。ZERO を一旦終了します。

ZERO を再起動すると、[マスタ同期・ダウンロード確認] ダイアログが表示されます。次ページの手順に従って、サーバーにアップロードされているマスタをダウンロードしましょう。

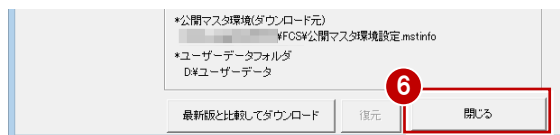
### サーバーのファイル書き込み権限

ダウンロードの際、ダウンロードした履歴をサーバーのファイルに書き込むため、サーバーへの書き込み権限が必要です。



アップロードされているマスタ環境には存在しないファイルがダウンロード側のマスタ環境にあった場合、これらのファイルを削除したいときに ON にします。

例えば、「2D 部品」マスタに自分で追加したデータがある場合、ダウンロードするマスタにはこのデータは存在しないので、自分で追加したデータは削除されます。自分で追加したデータを残しておきたい場合は OFF にします。



## マスタをダウンロードする

新しいマスタがアップロードされた後に、ZERO を起動すると [マスタ同期・ダウンロード確認] ダイアログが表示されます。このダイアログが表示された場合には、以下の手順でマスタを更新します。

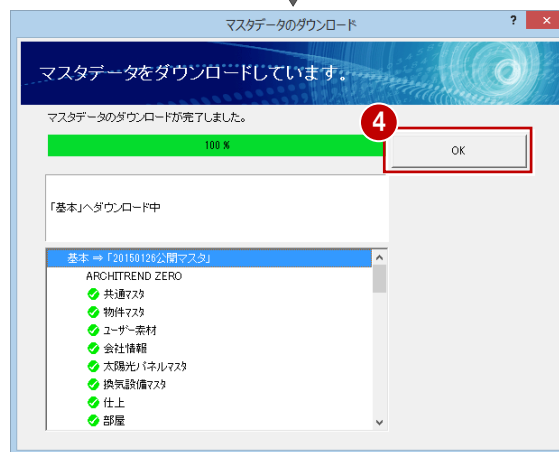
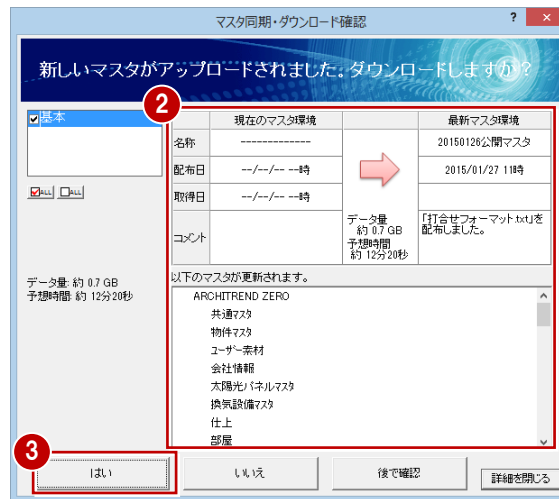
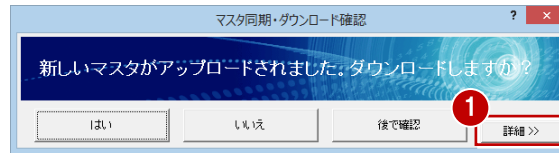
① [詳細] をクリックします。

② 更新の内容を確認します。

③ [はい] をクリックし、ダウンロードを開始します。

④ [OK] をクリックします。

マスタの更新が完了し、ZERO が起動します。

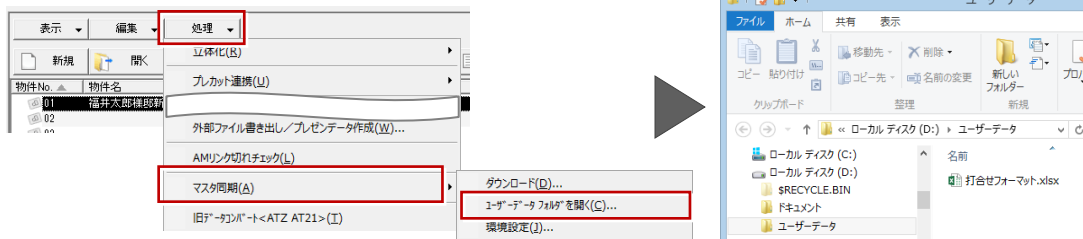


### ダウンロードの途中でキャンセルした場合

ダウンロード前の状態に戻ります。ただし、Archi Master のマスタは、[キャンセル]のタイミングによりキャンセルできない場合があります。

### ユーザーデータフォルダの確認

マスタデータ以外のデータをダウンロードした場合には、[物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [ユーザーデータフォルダを開く] を選びます。ユーザーデータフォルダが開き、フォルダ内に配布データが保存されていることが確認できます。

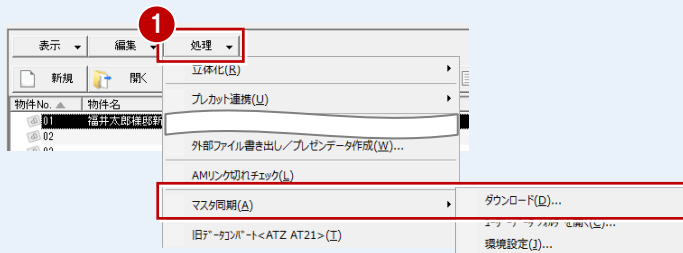




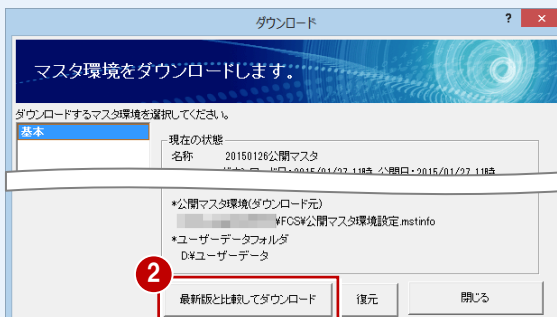
## 【補足】 ZERO を使用中にマスタを更新する場合

ZERO を使用中にマスタを更新する必要があった場合など、任意のタイミングでマスタをダウンロードすることができます

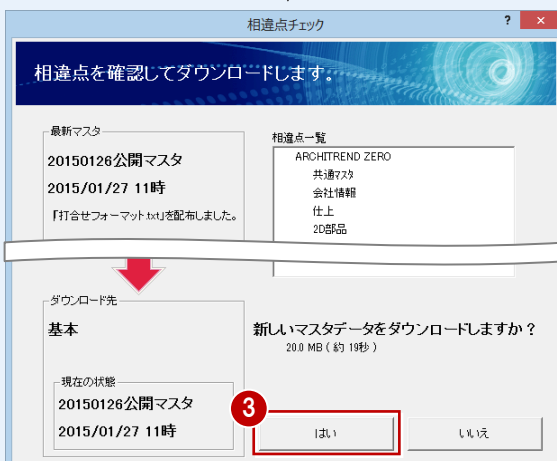
- 1 [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [ダウンロード] を選びます。



- 2 [最新版と比較してダウンロード] をクリックします。



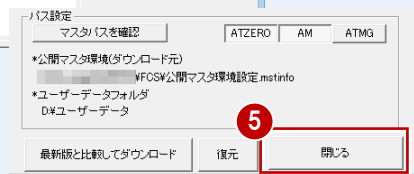
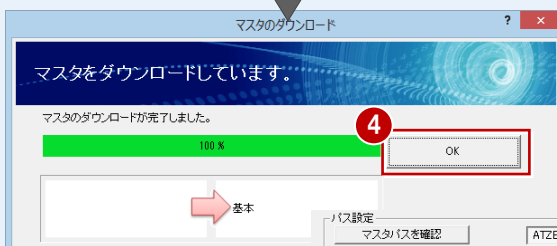
- 3 相違点一覧を確認して、[はい] をクリックします。



### マスタ作成者がアップロード中の場合

ダウンロードできません。アップロードが終了してから、再度ダウンロードを実行してください。

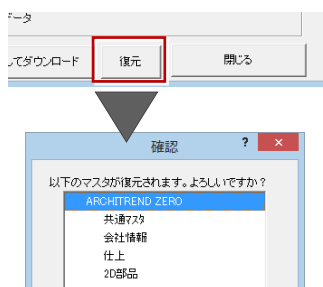
- 4 [OK] をクリックします。  
ダウンロードが完了しました。
- 5 [閉じる] をクリックしてダウンロードを終了します。



### ダウンロード前の状態へ復元

[復元] をクリックすると、前回ダウンロードしたマスタをダウンロード前の状態に戻すことができます。

- ※ Archi Master のマスタは、復元対象外です。
- ※ 復元処理は最大 1 回までです。複数回のダウンロードを段階的に復元していくことはできません。
- ※ マスタ作成者が確認できる「ダウンロード状況確認」では、ダウンロードの履歴は残ったままとなります。

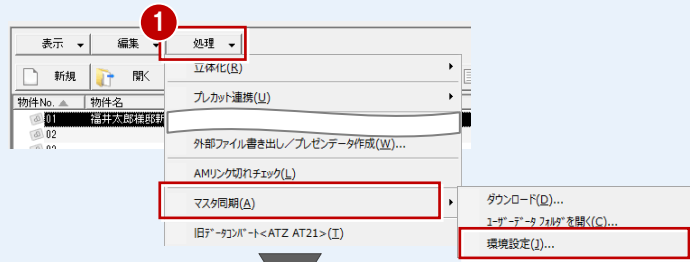


## 【補足】複数のマスタを使用する場合（※マスタ使用者）

取引先などのマスタを使用する場合は、マスタ環境を新たに作成する必要があります。

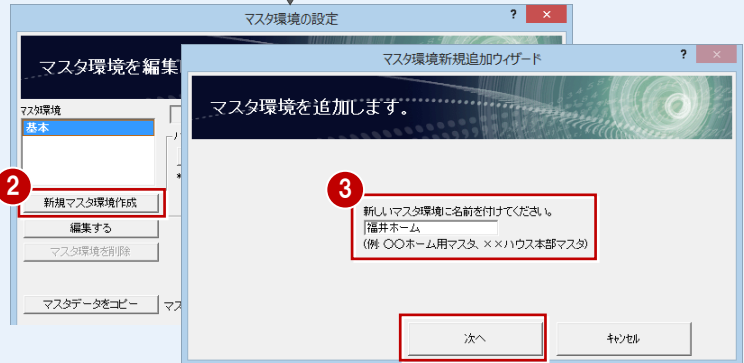
### － マスタ環境を作成する －

① [物件選択] ダイアログの [処理] から [マスタ同期] の [環境設定] を選びます。

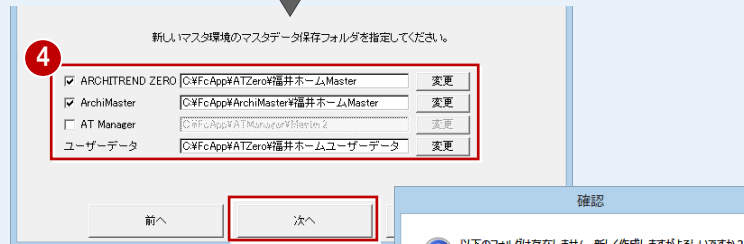


② [新規マスタ環境作成] をクリックします。

③ 新しいマスタ環境の名前を入力し、[次へ] をクリックします。



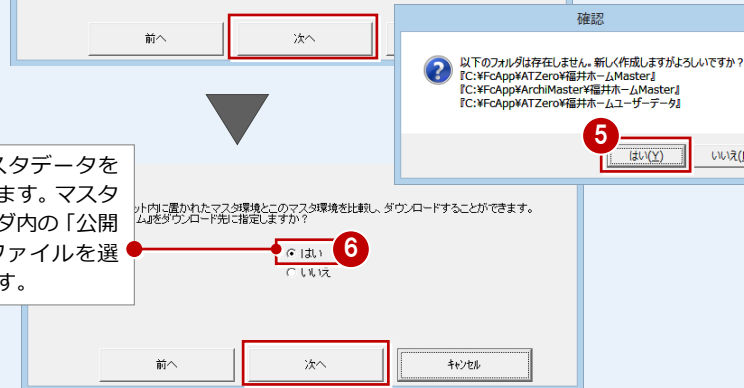
④ 新しいマスタ環境のマスタデータ保存フォルダを指定して、[次へ] をクリックします。



⑤ [はい] をクリックします。

⑥ [はい] を ON にして、[次へ] をクリックします。

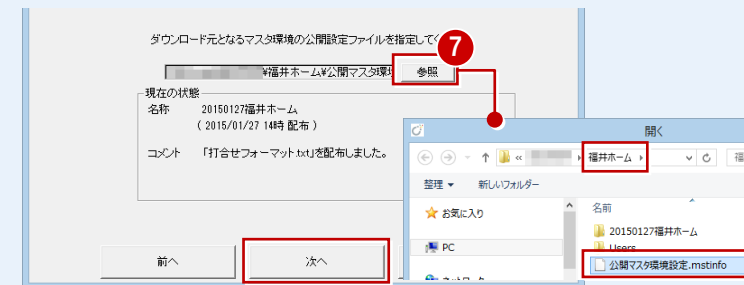
サーバーに保存してあるマスタデータをダウンロードすることができます。マスタデータが保存してあるフォルダ内の「公開マスタ環境設定.mstinfo」ファイルを選び、ダウンロードを開始します。



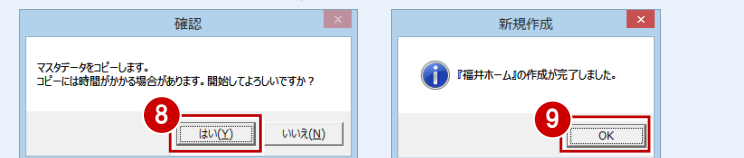
⑦ [参照] をクリックして、ダウンロードするマスタ環境の「公開マスタ環境設定.mstinfo」を指定し、[次へ] をクリックします。

⑧ コピー開始の確認画面で [はい] をクリックします。

⑨ [OK] をクリックします。



以上で、新しいマスタ環境の作成が完了しました。



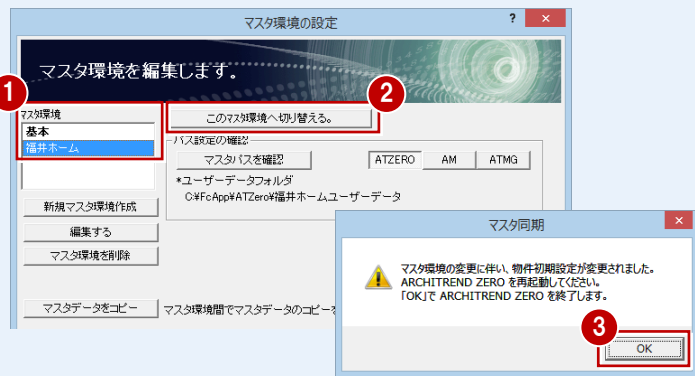
### サーバーファイルの書き込み権限

ダウンロードの際、ダウンロードの履歴をサーバーのファイルに書き込むため、サーバーへの書き込み権限が必要です。

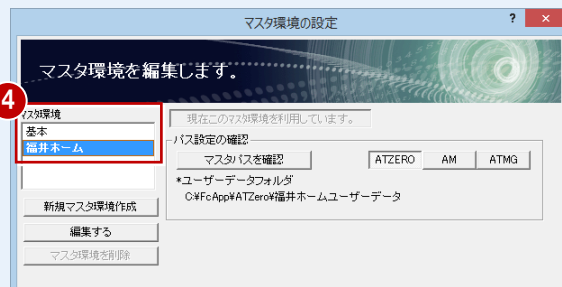
－ マスタ環境を切り替える －

新しく追加したマスタ環境に切り替えましょう。

- ① [マスタ環境] で新しいマスタ環境（ここでは「福井ホーム」）を選びます。
- ② [このマスタ環境へ切り替える。] をクリックします。
- ③ [OK] をクリックします。



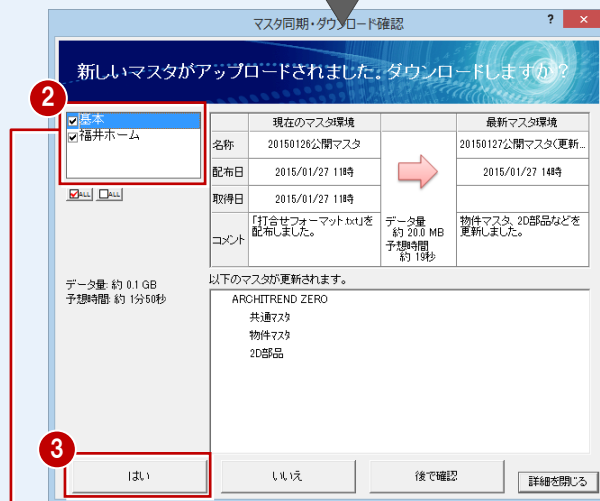
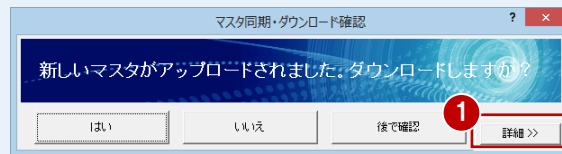
- ④ ZERO を再起動し、[マスタ同期] メニューの [環境設定] を開くと、マスタ環境が「福井ホーム」に切り替わったことが確認できます。



－ マスタを更新する －

「基本」と「福井ホーム」の両方のマスタが更新された場合は、以下の手順に従ってマスタを更新しましょう。

- ① [詳細] をクリックします。
- ② 両方のマスタ環境が ON であることを確認します。
- ③ 更新内容を確認して [はい] をクリックします。  
「基本」と「福井ホーム」のマスタ更新が始まります。



マスタ環境をクリックして切り替えると、青く表示された方のマスタ環境の更新内容が、右側に表示されます。

